

## 令和元年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会 離島・へき地部会議事要旨

日 時：令和元年 9 月 10 日（火） 15：00～17：00

場 所：琉球大学医学部附属病院 がんセンター

構 成 員：13 名

出 席 者：<がんセンター>3 名

赤松道成（北部地区医師会病院）、朝倉義崇（中部病院）、増田昌人（琉球大学医学部附属病院がんセンター）

<スカイプ参加>6 名

尾崎信弘（八重山病院）、平良美江（八重山病院）、田盛亜紀子（やいまゆんたく会）、松村敏信（宮古病院）、代理：知念望（宮古病院）、真栄里隆代（ゆうかぎの会）、

欠 席：5 名

戸板孝文（中部病院）、友利寛文（那覇市立病院）、中山幸子（宮古病院）、我如古春美（北部地区医師会病院）、仲里可奈理（沖縄県保健医療部健康長寿課）

陪 席 者：1 名

岸本夕紀（琉球大学医学部附属病院がんセンター）

**【報告事項】**

## 1. 令和元年度第 1 回離島・へき地部会議事要旨について

尾崎部会長より、資料 1 に基づき令和元年度第 1 回離島・へき地部会議事要旨の報告があり、承認された。

## 2. 離島・へき地部会 委員一覧

報告なし。

## 3. 「要望書」について

増田委員より、まだ病院長の手元にあるが保健医療部の幹部は要望書を把握しており、現状について認識はしていただいていると報告があった。また、どこに提出するかについてはまだ決まっていない旨の説明があった。尾崎部会長より、離島から要望が出た際にどういう対応をするか議論をする部会があると聞いたがどの部会で議論されるのかと質問があり、増田委員より 10 月中旬に第 1 回医療部会を開催予定で、そこで離島へき地部会の現状を報告し、がん種ごとに地域完結でやるのか地域をまたいでやるのか医療部会の中でも議論してもらおう予定と回答があった。

## 4. その他

特になし。

**【協議事項】**

## 1.今年度の事業計画について

増田委員より、資料3に基づき説明があった。朝倉委員より個人情報を含む(画像)情報を拠点病院間で共有できるネットワーク作りが県の予算を使ってできないかと意見があり、尾崎部会長から県立八重山病院は周辺離島とまったく連携がとれていないと報告があった。本島と離島へき地の連携を考えると非常に重要なため、本部会から要望として出すことが決まり、部会から協議会へお願いをすることとなった。

また朝倉委員より、県の薬剤購入費が年間で決まっているため、年度途中で高額な薬剤を購入しようとする予算がつかず購入できないという状況が毎年続いており、離島の抗がん剤治療のネックになっているため、何らかの特別な措置を県にお願いしても良いのではないかと意見があがり、尾崎部会長から協議会でも議論になり、委員の方からもおかしいと発言があったが、県のどこまで話を通っているかはわからないとの説明があった。県のシステムを変えない限り解決は難しいとの結論に至ったが、これからも訴え続けていくことが改めて確認された。

## 2.「北部・宮古・八重山医療圏におけるがん医療をどこまでやるのか」について

増田委員から、資料4に基づき説明があり、どこまでやるのかをA-絶対カバーしなければいけない領域、B-できたらカバーしたほうが良いのではないかとという領域、C-原則としてカバーしない領域の3つに仕分けを行い、現状を踏まえた上で方策を練ってもいいのではないかと提案があった。尾崎部会長より各施設でがん種ごとにABC分けを行い、事務局で取りまとめたものを次回の部会で確認したほうが良いのではないかと意見があった。そこで事務局でABCの入力欄を入れたひな形を用意し、次回の会議までに取りまとめることが決まった。

また、真栄里委員より専門医や認定看護師が各施設にどれくらいいるかなどの情報が不足しているため、それらをまとめる必要があるのではないかと意見があった。尾崎部会長から、現状と望むべき体制をもう一度確認し各施設ごとに提出してもらい、足りていない状況を示していく必要があると説明があった。また、増田委員よりそれらがまとまり次第、12月頃に宮古島・石垣島へ出向き地域の患者会の方の意見を伺う予定と説明があった。

## 3.今年度の開催日程について

第3回 12月10日(火) 15:00～

第4回 3月10日(火) 15:00～

## 4.その他

松村委員より、資料4の「肺」について<免疫チェックポイント阻害剤が思うように使用できず困っている>から<現在は使用している>へ修正依頼があった。